

農地所有適格法人を設立して有機栽培に挑戦

(株式会社エコ・スマイル)

<法人の概要>

所在地：鹿児島県霧島市

設立：平成9年6月

資本金：1,000万円 売上高：2,100万円（令和2年）

役員：3名（うち農作業従事2名）

経営面積：12.5ha

作付作物：水稻、野菜



有機栽培ほ場でのにんじんの収穫



有機栽培はこまめな観察・管理が重要

<営農を開始するまでの状況>

○参入の動機・経緯

元々建設業を営んでいたが、子供の病気（アトピー）がきっかけで食生活の改善に興味を持ち、最初は個人で野菜の有機栽培に取り組んでいた。

一方で、会社で新たに環境部門を立ち上げ、学校給食等の残渣や廃棄草類等を利用したりリサイクル堆肥の製造事業を開始していた。

このような中、製造した堆肥を利用して、有機野菜の生産に取り組もうとの機運が高まったことから、農業生産法人を設立して農業に参入することとなった。

○農地の確保

個人で農業経営している時からのつながりである知人に農地を紹介してもらったが、一部は農業委員会を通して耕作放棄地を借り、一部は自社の所有する重機等で山林を開墾した。なお、現在の作付面積のうち2.0haは耕作放棄地を再生したものである。

○有機農法の技術習得

有機農法の技術については、地域の仲間と連携し、県の普及指導員の支援を受けながら習得したところである。

＜特徴的な取組＞

○農産物の生産

生産物はすべて有機農法による栽培であり、2001年に有機JAS認証を取得している。また、水稻は黒米・赤米など希少価値の高いものの生産を行っている。多くの品目を栽培することで、途切れることのない生産体系を確立している。

○農産物の販売

学校給食や有機生産物を取り扱う組合との契約栽培が中心であるが、インターネットや地元の直売所による販売も増加している。

○堆肥の製造・販売

平成11年度から堆肥の製造に参入している。

＜今後の農業経営の展開方向＞

○事業の規模拡大・縮小の方向

当面は現状を維持しながら、収量の増や販路の拡大による収益の向上を図る。

○新たな取組

現在行っている子供達の農作業体験などから発展してグリーンツーリズム（体験型農業）などを行っていききたい。

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞

- ・農業は軌道に乗るまで時間がかかるため、本業の余力があるうちに参入した方がよい。
- ・身の丈にあった規模で始め、技術を確立してから規模拡大した方がよい。
- ・地域の農業者と親しくしてアドバイスをもらえるような付き合いが必要。



学校給食用に出荷される野菜の調整



リサイクル産業での堆肥は販売と自社利用